

研修会名：最新のエビデンスを明日からの臨床につなげる  
(脳卒中理学療法)

<研修概要>

日 時： 2019年5月25日(土)  
時 間： 研修1 9:00~12:00  
会 場： 徳島文理大学 23号館 203教室

大会参加費のみ

研修形態	講義のみ		
予約申し込み	不要	予約定員	0人
予約費用	0円		
無料聴講	あり	聴講定員	140人

講 師： 野添 匡史 氏 (甲南女子大学)

<研修内容>

本邦における脳卒中理学療法の方法論は多岐にわたっており、その違いを時に“宗教”のように揶揄されることもある。しかし、脳画像や電気生理学的検査、定量的な臨床評価などから脳卒中患者の病態把握が行える環境が整うに従い、これら方法論の違いを議論することはナンセンスになってきており、症例毎に介入方法を模索する必要性が一層強まっている。このことは、脳卒中理学療法においても多数実施されているランダム化比較試験の結果を解釈する際にも適応されるべき考えでありであり、良質なエビデンスであっても、目の前の症例に適応可能か否かを十分吟味する必要性がある。

本研修では、脳卒中理学療法に関するエビデンスを臨床実践する際の tips や pitfall など、講師の研究分野である早期離床・身体活動量・サルコペニア・電気刺激療法などをキーワードとしながら主に急性期から回復期における症例を呈示しながら解説する。